

いなべ市×岐阜ダイハツ販売株式会社

地域ニーズ・課題（福祉部 長寿福祉課）

「住民同士が助けあえるまちへ～高齢者見守り支援～」

いなべ市では、ちょっと目や耳が悪い、もの忘れしがち、運動機能が低下したなどの高齢者が「初めて」でも活用しやすい簡単見守りツールを企業のみならずとも考え、「高齢者の見守りが、高齢者同士で、地域で、いなべ市で」構築できるまちづくりを目指す。

実証概要 令和4年度 未来技術社会実装事業（内閣府）に認定

高齢者が自然とデジタルを活用できる環境の構築を目指し、実フィールドとデジタルを併用した「健康管理」「生活支援」「移動手段の高度化」「見守りサービス」を提供。

- ・ショッピングリハビリの実施（運動兼買い物）
- ・AIオンデマンドタクシーや乗り合い送迎による移動手段の効率化
- ・通信技術を活用した安否確認
- ・体組成計を活用したPHRの推進、オンライン診療
- ・デジタル活用講座の実施 等



いなべ市（三重県）

人口45,000人のうち、高齢者が12,000人を占め、4人に1人が高齢者。独自で高齢者見守りに取り組んでいるが、将来、見守る人と見守られる人の均衡が保てなくなる（見守られる人の増加・見守る人の減少）ことから、アナログ的な見守りから、ITを活用した見守りの導入を目指している。

岐阜ダイハツ販売株式会社（岐阜県岐阜市）

自動車業界初のAI社員導入など、チャレンジNo.1を掲げ、全国トップを目指した取組を展開。“自治体支援チーム”を結成し、ショッピングリハビリカンパニー株式会社（島根県雲南市）等、様々な企業と連携し、自治体に総合的な提案を実施。いなべ市の未来技術社会実装事業に至る。

*いなべ市でのダイハツが携わる事業は株式会社ダイハツ三重が実施。